ここにタイトルを入れてください

**Please input English title**（英語のサブタイトルは無くても可）

武庫川太郎\*　　　　　武庫川花子\*\*

Taro MUKOGAWA　　　　Hanako MUKOGAWA

\*太平洋高校　　　　　\*\*日本海大学

Taiheiyo High School　　Nihonkai University

あらまし：本鋳型ファイルは、情報コミュニケーション学会第22回全国大会発表論文集の原稿提出用です。一般研究発表者は、見開きで4ページまたは2ページ分の原稿を作成ください。原稿は、MS-Wordの電子ファイルとともにPDFファイルの提出をお願いしています。（あらましは300字以内、英文サマリーは不要です）

キーワード：鋳型ファイル　発表論文集（キーワードは５～６語、英文キーワードは不要です）

# 1　はじめに

*「はじめに／序論」では、研究の背景、問題、目的を説明します。*

この鋳型は、学会誌執筆要綱[1]の投稿種別「ノート(Note)」に準じたものです。

## 1.1　論文タイトルまわり

原稿の冒頭には、タイトル、著者名、所属を日英両語で入れます。

* タイトルは、論文等の内容が明確に分かるようにし、副題はない方が望ましいです。
* タイトルのポイント数は、14pですが、文字数によっては12～18pまでお使いになれます。
* タイトルの英語標題は、文頭の一文字だけ大文字とし、それ以降は固有名詞を除いて小文字です。
* 著者名の英語表記は名姓の順とし、姓は大文字のみで記します。例：Makoto SUZUKI

タイトルと著者名・所属は、「中央揃え」と「グリッド線の解除」をしてあります。「グリッド線の解除」をしないと、不自然な行間になるからです。その方法は、該当部分を選択したうえ、メニューから「書式」→「段落」と選んで、「インデントと行間隔」の2番目のチェックボックスを解除指定します。

# 2　本文の構成

*本文では、研究の方法（実験方法、分析方法等）、得られた結果・知見、先行研究との比較、考察などを記述します。必要に応じて図表を用います。*

本文は2段組で23字×44行を原則とし、A4用紙で4または2ページ。余白は上下25mm左右20mmです。文字のポイント数は10.5pですが、10pでもかまいません。句読点は、読点「、」と句点「。」を用います。

## 2.1　章節の見出し

本文は必要に応じて章、節、項に分け、章は「1　○○○」、節は「1.1　×××」、項は「(1)　△△△」のように記し、章、節、項の見出しに続く文章は改行して、1文字下げてはじめます。

# 2.2　図表

図表については、図1、表1、写真1のように一連番号を付し、タイトルを必ず付けます。

表や図について、フォントサイズや行間、レイアウトデザインはここに挙げた例を参考にしてください。

表 1　ここに表のタイトルを入れます

|  |  |
| --- | --- |
| 表のタイトルは、表の上に置いて下さい | ・・・ |
| ・・・ | ・・・ |

図表作成上の注意を次にまとめておきます。

* 図、写真、表はオリジナルを使用してください。
* 余白部分に張り出さないようにご留意ください。
* あまり小さい文字の使用は控えてください。
* 図、写真、表はきれいに作成してください。
* モノクロ印刷で理解できるようにし、カラーの使用は避けてください。
* 図のタイトルは図の上でも可です。

図 1　図のタイトルを入れてください

# 2.3　注について

注は原則として用いないで下さい。本文中に括弧付きで書き込むなどの工夫をお願いします。

## 2.4　参考文献について

参考文献は、論文中の表出順に通し番号を付して末尾に一括記載します。文献リストに必要な項目と順番は、書籍の場合は [1]、雑誌の場合は [2] の通りとします。著者が複数の場合には、全著者の氏名を記入します。和文文献においては、読点には全角の「、」を用い、「Vol.」、「No.」、「pp.」あるいは月名等の省略記号及び行末の句点には半角ピリオド「.」を用います [1-2]。

欧文文献の留意点：

* 姓と名のイニシャルをWine, A.G.のように記し、半角空白を姓名の間一箇所だけに挿入します。
* 半角ピリオド「.」と半角カンマ「,」を用います。
* Vol.J62-B、No.1、pp.20-27 等の場合には、半角ピリオド「.」の後ろにはスペースは挿入しません。
* 発行の年月を記載する場合には、月年の順で、月名には英語を、年には西暦を用います。

## 2.5　引用方法について

本文中の該当箇所に引用番号を [1] や [2-5] とします。書籍などで引用場所を明記する場合は、[1, p.35]、[2, pp.14-18]、[3, 第5章] のように記します。

# 3　まとめ

*「まとめ／結論｣では、得られた結論や成果を簡潔に記します。*

謝辞があれば本論の最後にお書きください。

# 参考文献

1. 情報コミュニケーション学会、「学会誌執筆要綱」、http://www.cis.gr.jp/ (2008年2月28日アクセス）.
2. 著者名、『書名』、編者名、発行所、発行都市名、発行年.
3. 著者名、“標題”、雑誌名、巻、号、pp.を付けて始め－終りのページ、月年.

# 発表申込および原稿提出

## 発表資格

情報コミュニケーション分野の研究と認められるものであれば、どなたでも発表できます。学部生および大学院生の発表も歓迎します。

発表論文の著者となれるのは、その論文で報告される研究に実質的な貢献があった者に限ります。研究成果を本大会で発表すること、および、著作物である発表論文の内容について、すべての著者が同意していることが必要です。

## 発表申込と原稿提出

発表の申し込み締め切りは原稿締切の前に設定されていますので、注意してください。いずれもGoogle Formから行います。学会ウェブの第22回全国大会のページ（<https://cis.gr.jp/activities/2025-zenkoku>）にフォームへのリンクがあります。

* 発表申込締切：2025年1月31日（火）
* 発表原稿締切：2025年2月12日（水）

## 知的財産権の尊重と研究上の倫理

原稿執筆は、他者の著作権や、研究に関わる個人・集団（研究対象となった個人・集団や研究に関連のある個人・集団）のプライバシーや名誉、人権に関する十分な配慮のもとに行ってください。研究上の倫理にも反しないよう、十分に配慮することが求められます。

## 著作権

発表論文の著作権は、論文が提出された時点をもって、本学会に無償で譲渡されるものとします。ただし、発表が取り下げられた場合は、論文の発表は行われていないこととなります。著者自身による発表論文の利用は無条件で許諾しますが、本大会の発表論文集に掲載されていること、加筆・修正・編集が行われる場合は本大会での発表論文集がベースであることを明示してください。